

事業コード	H29-農-継-11		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	治山事業(公共)		部局課室名	農林水産部 森林整備課
事業種別	補助事業(治山事業)		班 名	治山・林道班 (tel) 018-860-1943
路線名等	狼沢		担当課長名	櫻田 良弘
箇所名	雄勝郡東成瀬村椿川字狼沢		担当者名	石川 仁
プランとの 関連	政策コード	01	政 策 名	県土の保全と防災力強化
	施策コード	01	施 策 名	健全な県土保全の推進
	指標コード	01	施策目標(指標)名	地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づ

## 1. 事業の概要

事業期間	H04 ~ H35 (32年)	総事業費	48.1億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	隧道工756m、集水井工46基、ボーリング暗渠工45,546m、溪間工2基					
事業の立案 に至る背景	昭和50年頃より融雪期に毎年斜面上方の作業道に落差を伴う亀裂が発生していた。平成3年には多数の新たな亀裂や狼沢への顕著な土塊の押し出しが確認され、調査を行ったところ斜面長約1.2km、幅約0.6kmの規模を有する大規模な地すべりであることが判明し、下流域の保全対象への被害を未然に防止するため、平成4年度より地すべり防止事業による対策工に着手した。					
事業目的	【主たる目的】 地すべりの誘因となる地下水を隧道工、集水井工からのボーリング暗渠工等により排除し、地すべり災害の防止を図る。 【主な保全対象】 人家120戸 道路800m 田畑8ha					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	4,502,000	4,802,000	300,000		
	経費 内訳	工事費	3,502,000	3,652,000	150,000	
		用補費	0	0	0	
		その他	1,000,000	1,150,000	150,000	
	財源 内訳	国庫補助	2,251,000	2,401,000	150,000	
		県 債	2,025,900	2,160,900	135,000	
		その他	0	0	0	
一般財源	225,100	240,100	15,000			
事業内容	隧道工756m 集水井工45基 ボーリング暗渠 工41,618m	隧道工756m 集水井工46基 ボーリング暗渠 工45,546m	集水井工1基 増 ボーリング 暗渠工3,928m 増	効果判定調査の結果に基づく 対策工事数量の増。		
事業の進捗 状況	平成28年度末投資事業費 4,028百万円 (進捗率83.9%) 隧道工756m 集水井工35基 ボーリング暗渠工35,776m					
事業推進上 の課題	特になし					
関連する計 画等	「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の暮らしを支える5つの基本政策「県土の保全と防災力強化」の中に「治山対策等による生命財産を守る安全な地域づくり」が位置付けられている。					
情勢の変化 及び長期継 続の理由	当地区下流域の椿台・手倉地域の住民及び東成瀬村からは、早期・確実な実施を強く要望されており、情勢の特段の変化は見られない。 当地区は、大規模な地すべりブロックであることに加え、効果判定調査を行いながらの対策工事であることから事業期間を要している。					
事業効率把 握の手法及 び効果	指 標 名	保安林の累計整備面積(ha)				
	指 標 式	整備面積累計				
	指 標 の 種 類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目 標 値 a	44,556 ha	データ等の出典	森林整備課 調べ		
	実 績 値 b	38,444 ha				
達成率 b/a	86.3 %	把握の時期	平成29年3月			

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	地すべり機構調査の結果、地すべりの規模も大きく、滑動が活発であることが判明しており、大規模な地すべりが発生した場合は、下流域の人家及び国道等に甚大な被害を及ぼす恐れがあることから、事業の必要性は認められる。	5点
緊 急 性	これまでの対策工により、最大で年間40cmあった移動量が約4cmと減少しているが、現在も融雪期には地盤の滑動が発生しており、早急な地すべり対策により安定化を図る必要がある。	30点
有 効 性	当事業の実施により、地すべりブロックの活動量が大幅に減少しており、当事業の有効性が認められる。	10点
効 率 性	事業の費用対効果は、1.35であり、効率性は高い。 ・総事業費 7,529百万円 ・総便益 10,133百万円	20点
熟 度	地元住民及び東成瀬村との合意形成は図られている。 また、地すべりの規模、想定される災害について、地元住民、村、消防等の関係者に説明会を開催している。	25点
判 定	ランク ( <input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III ) 各観点において評価点が高く、住民の安全・安心な暮らしを実現する上でも優先度の高い事業箇所であり、継続して実施すべきと考える。	90点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業実施箇所として優先度は高く、継続して実施すべきと考える。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画どおりの完成を目指し事業を実施するとともに、引き続きコスト削減に留意する。
---

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 継続箇所評価  
 適用基準名 地すべり防止事業

事業コード(H29-農-継-11 )  
 箇所名 ( 雄勝郡東成瀬村椿川字狼沢 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性				
	県民のニーズ	当該施策の優先課題としての支持率が非常に高い 当該施策の優先課題としての支持率が高い 当該施策の優先課題としての支持率があまり高くはない	5 3 1	5	
	計		5	5	
	緊急性	災害発生の危険度			
緊急性	人命への影響	災害の発生により人命に危険がある 災害の発生による人命への影響はほとんど無い	10 1	10	
	地すべり兆候	全体的に変状が認められる 部分的に変状が認められる 具体的変状は認められない	10 5 1	10	
	林地・公共施設への影響				
	林地・公共施設への影響	林地・公共施設への影響が大 林地・公共施設への影響が懸念 林地・公共施設への影響が小	10 5 1	10	
	計		30	30	
	有効性	当初計画からの具体的効果			
有効性	目標安全率の達成率	目標の100%以上 90%~100%未満 90%未満	10 5 1	5	
	上位計画への貢献度				
	第2期ふるさと秋田元気創造プラン	プランに関連する事業である プランとは別の個別計画に関連する事業である プラン、個別計画に関連しない事業である	5 3 0	5	
	計		15	10	
効率性	事業の投資効果				
	費用対効果	B/C=1.0以上 B/C=1.0未満	10 0	10	
	コスト削減の検討				
	コスト削減計画	具体的に検討または実施している 検討を予定している 検討していない	10 5 0	10	
計		20	20		
熟度	事業実施体制				
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている 意向が強く要件の同意を概ね得ている 要件の同意を得ていない、または、調整中	5 3 1	5	
	これまでの進捗状況				
	前年度までの進捗比	計画より進捗している 概ね計画どおりである 計画より遅れている	10 5 1	5	
	今後の進捗見込み				
		課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる 将来的な課題はあるが、当面進捗に影響は無い 課題は解決の見込みが無く、事業の停滞が予想される	5 3 1	5	
	他官庁との協議調整				
	基本合意の有無	協議・調整済みで事業推進に影響は無い 協議・調整中であるが事業推進に影響は無い 協議・調整中で事業推進に影響する	5 3 0	5	
	環境との調和への配慮状況				
	環境保全への配慮	十分に配慮されている 配慮について検討している 特に配慮はない	5 3 0	5	
計		30	25		
合計			100	90	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		